

学べる  
憩える  
快適空間

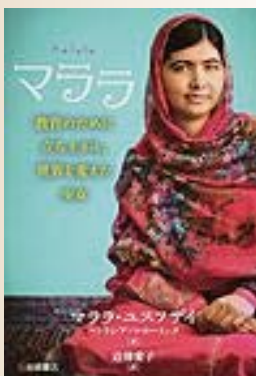
## 図書館の魅力

### 『知ってた?世界の偉人・有名人』

子どもから大人まで幅広くご利用いただける憩いの場「図書館」。その魅力についてお伝えしていきます。今回は、8・9月のティーンズコーナー『知ってた?世界の偉人・有名人』からおすすめ本を紹介しします(10月4日(月)まで)。

#### 『マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女』

(マララ・ユスフザイ著 パトリシア・マコーミック著 道傳愛子訳 岩崎書店)



女の子も学校に通う権利があると声をあげ続け、史上最年少でノーベル平和賞を受賞した少女マララの手記。パキスタンの歴史上の重要なできごとや、貴重な写真も掲載する。

#### 『星の旅人 伊能忠敬と伝説の怪魚』

(小前亮著 小峰書店)



行方知れずの父を探すため、少年は伊能隊と共に旅をする…。伊能忠敬の足跡を、少年の視点で描く歴史読み物。伊能忠敬の生い立ちや、時代背景、当時の風俗、測量技術の進化など、解説ページも充実。

【紹介文は株式会社図書館流通センターの書誌詳細より引用】

#### ティーンズコーナー

#### 『知ってた?世界の偉人・有名人』

テレビやゲームでよく聞く名前の方が、実はすごい人だったなど、毎日がちょっと楽しくなる情報に出会えるかもしれません。



## ひとまち・モータースポーツ

### モータースポーツお宝探検隊 vol.3

『ホンダF1』という、レースファンでなくとも心ときめくこのフレーズの原点は、いうまでもなくホンダの創業者である本田宗一郎さんの夢と情熱にあります。その本田さんのもとでホンダF1の第一期レース活動に携わったのが平井一博さん(80歳 平野町)です。

平井さんは1961年に本田技研工業に就職。鈴鹿製作所勤務を経て5年後に本田技術研究所(埼玉県和光市)に異動し、F1マシンの部品管理などを担当しました。海外で戦う現場部隊との連携はもちろん、本田さんへのレース結果速報までもも担っていました。

そんなハードな日々が報われたのが1967年9月のイタリアGP。ホンダF1が2勝目を飾りました。ただちに本田さんへ優勝報告をしたところ、翌日早朝に本田さんから「優勝車(RA300)のスペアマシンと記念写真を撮ろう」との提案が…。そして、研究所の敷地内で撮影されたこの貴重なショットが平井さんのかけがえのない宝物です。冷めやらぬ興奮と熱い歓喜がセピア色の写真から伝わってくるようです。



▲優勝車(RA300)のスペアマシンとの記念写真(操縦席:本田さん、向かって右:平井さん)

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

#### キーワード

今回の特集のキーワードは「認知症の方を地域で支える」でしたが、私自身、地域で支えていただけるありがたさを実感したことがあります。

私の祖父も認知症でした。年の割に体は元気で、歩いてどこかへ行ってしまい、帰り道が分からなくなることがたびたびありました。でも、近所に住んでいる方が「おじいさん、あちに行ったよ」と教えてくれたり、隣町の知人が「こっちまで来てたよ。よく遠くまで歩かれたね」と車で乗せてきてくれたり、何度も地域の方に助けていただきました。他にも、同じ話を繰り返す祖父の話を「うん、うん」と親身に聞いてくれる方もいました。昨年に他界した祖父ですが、地域の皆さんに支えられたことで、楽しい時間を過ごせたと思います。超高齢社会を迎えている今、日本中がそんな温かい地域になればいいなと思います。(恵)